

NO693 高麗の富士山

期日 2月3日(木)
参加 9名
天候 晴れ
費用 1,140円

節分の日。暦通りに暖かい日。
高麗川駅を10時半過ぎ、と
ゆったり出発。
道の端にはもう、福寿草やホト
ケノザ、オオイヌノフグリなど
春を告げる花たちが可愛い。

これが、221. 2Mの高麗の富士山



高麗川を新堀橋でわたると、いかにも高麗の里らしい道しるべが案内をしてくれる。



紅梅の咲き残る天神社では、地元のお年寄りから、ふじやまのはなしを聞いたり、蠟梅をめでたりしながら浅間神社の鳥居をくぐり、登り始める。



いままでの平坦な道から岩のとびで結構な傾斜に、ブツブツいいながら登っていると、会の大先輩がさっさと山頂一番乗り。

(わかいもん？は、だらしがない！)

山頂は展望はないが、静かな奥社の前で、パチリ！

里からお昼を告げるチャイムが聞こえてきて、に



わかにお腹がすき、休憩予定の白銀平へと足をのばす。

展望台で廻りの山々の名前を確かめ日だまりで思い思いのお弁当をひろげる。

本家の富士山は、春霞で見えなかったのがちょっと残念、かな。



由緒ある高麗神社は、出世明神でもあるらしいがいまさら出世は望まない？！ので、ハイキングの無事のお礼をする。



帰路の高麗川駅まで、のんびり、ゆったり。こんな低山歩きも、冬の晴れた日にふさわしい。どんなにおしゃべりに熱中しようと、道迷いする心配のない山行を計画してくれたリーダーに感謝の一日であった。(T記)

